

大勢の人が集まる場所や公共施設などでは受動喫煙を防止するため、タバコを吸うための喫煙所が設置されています。喫煙所はタバコの煙やニオイが漏れないようにする事が前提ですが、完全に密閉する空間を実現することは難しく、囲いのある部屋が設置されていることがほとんどです。囲いだけの喫煙所にしても設置するには、それなりに費用が必要になります。下の写真は、そんな設置費用の一例です。

なんと販売価格は100万円から、と案内されています。喫煙者にタバコを吸ってもらう場所にこんなに費用がかかるのです。そして、2025年に万博を開催する大阪市が路上喫煙を禁止し喫煙所を設置する事を検討している事を伝えるニュース画面には、喫煙所の設置に約1000万円、そのうえに清掃など管理・維持費用が必要とされています。タバコを吸わない人々の健康を守るために必要な費用ですが、そもそもタバコを吸う人がいなければ、いらぬ設備なのです。



そう考えると、喫煙者がもっともっと少なくなれば、費用をかけずに人々の健康が守ることができると思いませんか。

産業デザイン科
奥田恭久

議論 大阪市 全面喫煙禁止に
屋外の禁煙 世界では…

喫煙所増やすにも費用が…

禁止地区に設置されている喫煙所 (大阪・京橋)

設置費用
約1000万円
+ 管理・維持費 (清掃など)

今後、新たに設置する
喫煙所の設置費用は
市が負担する方針

➔ 税金が必要

ytv news